

- 管内 宗谷管内
分類 通学路の点検 交通安全教室 安全教育 その他（ ）
教育課程 教科（科） 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
取組のポイント

- 警察や町の交通安全協会と連携した交通安全教室の実施
- 事故の状況や危険箇所の調査結果に基づく、全校生徒による安全な地域づくりに向けた取組

取組の実際

ねらい

- 交通安全標語の作成や交通安全教室等を通じて、自他の安全を確保する態度を育成するとともに、交通安全に対する意識の向上を図る。

内容

- 1 交通安全意識を高める交通安全教室の実施
 - ・毎年、春の交通安全運動の時期に合わせて、全校で交通安全教室を実施し、自転車の乗り方や交通法規の学習を通して、生徒の安全意識を高めている。
 - ・地域の警察官の講話をもとに、日頃の自転車の乗り方を振り返り、各学級で歩行者の安全を守る自転車の走行について話し合っている。

- 2 生徒による安全な地域づくりへ向けた取組

- (1) 町全体での「交通安全大会」への参加

- ・町では、毎年、秋の交通安全運動の時期に合わせて児童生徒の交通事故防止と交通安全意識の高揚を図る取組として、「交通安全大会」を開催している。
- ・大会では、小・中学校の児童生徒が作成した標語を紹介するとともに、その標語を地域の広報誌に掲載するなどして、地域全体の交通安全に対する意識向上を図っている。
- ・「交通安全大会」での警察署交通課長の講話から、冬道事故防止に係る取組について学ぶとともに、地域の交通安全について理解を深めた。



【交通安全大会の様子】

- 児童生徒の標語
 「気をぬくな いつもの道に 危険あり」
 「事故ゼロで 明るい未来の ○○町」



【表彰式の様子】

- (2) 生徒による「安全な地域づくり」の取組

- ・特別活動の時間に、春の交通安全教室と秋の「交通安全大会」での取組を踏まえて、町全体の交通安全の取組や「交通安全大会」の歴史を理解するとともに、地域の危険箇所について地図で確認し、現地に赴き点検を行い、地域の危険箇所に標語を掲示した。

成果と課題

- 地域の警察と連携するとともに、地域の行事や特別活動の時間等において、計画的に交通安全指導を行ったことにより、生徒の交通安全に対する意識を高め、自他の安全を確保する態度の育成につながった。
- 比較的交通量が少ない地域であることから、交通安全指導に係る体験的な取組を行い、危機管理意識を養う指導を工夫する必要がある。